

2015年12月25日

報道関係各位

株式会社 CoLife
慶應義塾大学 SFC 研究所**株式会社 CoLife（コーライフ）が、慶應義塾大学 SFC 研究所インテリジェントホーム・ラボと、インテリジェントホームに関する共同研究を開始**

株式会社 CoLife(本社：東京都中央区、代表取締役社長：池内順平)と、慶應義塾大学 SFC 研究所インテリジェントホーム・ラボ(所在地：神奈川県藤沢市、所長：飯盛 義徳、ラボ代表：政策・メディア研究科教授小林博人)は、インテリジェントホームに関する共同研究を本年12月から開始いたします。共同研究は、国内外のインテリジェントホーム関連の最先端の技術やナレッジを収集し、家の中の新しいデバイスやメディア、サービス開発に向けた応用研究を産学連携体制で進めてまいります。

<研究の概要>

IoT(Internet of Everything)サービスの実用化が進み、暮らしに関するサービスが成熟化する現在において、先進的な「テクノロジー」を手にした住民のライフスタイルや、インテリジェントホームの動向を研究することは、喫緊の課題となっています。

本共同研究では、住まいの体調(コンディション)を可視化し、住まいの健康を維持・管理しながら、家の中の快適な時間を創出していく株式会社 CoLife と居住分野で先端的研究を行っている SFC 研究所インテリジェントホーム・ラボが共同で、国内外のインテリジェントホーム関連の最先端の技術やナレッジを収集しながら、インテリジェントホームの成長のカタリスト(触媒)となる要因を探求します。そして、家の中の目的やニーズに合わせて、私たちの日々の暮らしに実践的に役立つ新しいデバイスやメディア、サービス開発を産学連携体制で進めてまいります。

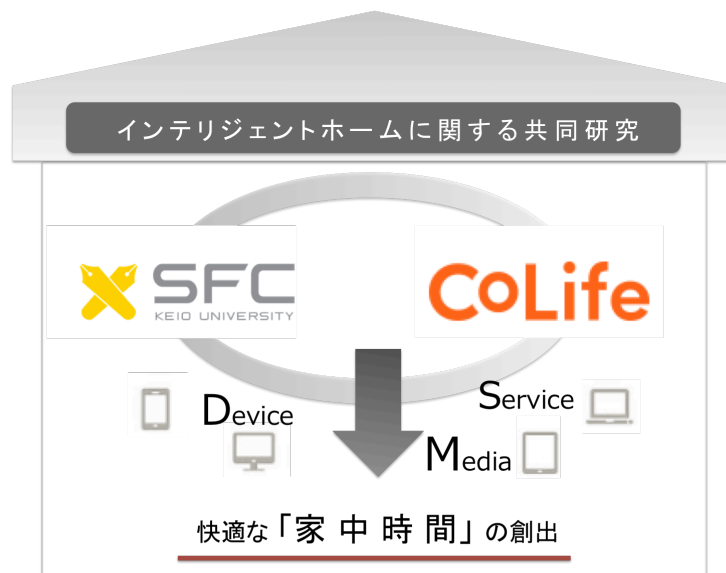
<活動内容>

- ・国内外のインテリジェントホーム関連の最先端の技術やナレッジの収集と情報提供。
- ・生活者の居住空間における行動に関する調査、分析。
- ・インテリジェントホームに関するデバイスやメディア、サービスの開発。

<各社の役割>

株式会社 CoLife：研究の情報発信とプロトタイプ開発の実施。

慶應義塾大学 SFC 研究所：研究の情報収集及び共有、プロトタイプ開発の支援。



【株式会社 CoLife について <http://www.colife.co.jp/>】

株式会社 CoLife は、「暮らし」のサービスに変革を起こし、「暮らし」を通じて人々の経験価値を向上させること。そして、日本における「暮らし」サービスの成熟化に貢献し、世界に向けてサービス事業を展開する企業の先駆けとなることを企業ミッションとして掲げています。住まいの体調（コンディション）を可視化し、住まいの健康を維持・管理することで、家の中の快適な時間を創出することを目指しています。

【慶應義塾大学 SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>】

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21 世紀の先端研究をリードする研究拠点として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

<本資料に関するお問合せ先/配信元>

株式会社 CoLife (コーライフ)

富樫 拓也

電話 : 03-6861-4100 E-mail : togashi@colife.co.jp